

## 岐阜信金2期ぶり増益

## 3月期 純利益50億円超

岐阜信用金庫（岐阜市）が11日発表した2026年3月期単体決算は、日銀の政策金利引き上げに伴い、貸出金利などの資金運用収益が伸び、純利益は前期比13・6％増の50億8900万円だった。増益は2期ぶりで、50億円を超えたのは16年3月期以来となった。

経常収益は、貸出金利や預け金利の増加などが寄与し、11・2％増の39億2800万円で、5期連続の増収。預金利息や人件費などの経費は増加したものの、増収効果で経常利

益は24・1％増の75億9400万円と2期ぶりの増益だった。

本業の収益力を示すコア

業務純益（投資信託解約益除く）は16・9％増の74億6200万円、実質業務純益は7・9％増の44億38

00万円だった。

期末預金残高は個人預金が増えた一方、法人預金が減少し、0・4％減の2兆6481億5500万円。期末貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人向け融資が伸び、1・2％増の1兆5189億8500万円で過去最高を更新した。

財務の健全性を示す自己資本比率は前期比0・13％上昇の10・11％で、引き続き国内基準の4％を大幅に上回った。不良債権比率は0・02％低下し、2・54％となった。

## 県内金融機関2026年3月期決算

|        | 経常収益          | 経常損益         | 純損益          |
|--------|---------------|--------------|--------------|
| 岐阜信用金庫 |               |              |              |
| (単)    | 39,328 (11.2) | 7,594 (24.1) | 5,089 (13.6) |
| (予)    | —             | —            | —            |

【注】単位は百万円、％。(単)は単体、(予)は2027年3月期予想。カッコ内は前期比増減率、—は非公表。